

クリヨウジ作品アーカイブプロジェクト事業

鯖江市

概要／課題

本事業は、作家クリヨウジ（久里洋二※2016年にカタカナ表記に改名）氏のアニメーションを中心としたメディア芸術作品の未整理資料を調査し、カタログ化とデジタル化を実施することで氏の広範な創作活動を包括的に捉え、次世代に資することを目的とした事業である。

クリ氏の作品は日本のメディア芸術の先駆時代の検証に必要な不可欠なものである。しかし、それらの貴重な作品及び関連資料はアトリエや倉庫で適切な形で保存されておらず、劣化や損失が危惧される現状にある。また、クリ氏の長年の創作活動は多岐にわたり分量も多いため、全ての資料の調査・カタログ化・デジタル化には複数年かかると推定される。本事業では、作業計画のもと、未整理資料の総合的な調査、デジタル化を行い、クリ氏へのヒアリングを通して氏の創作活動の全容を把握するべく取り組みを進めている。

体制／手法

鯖江市（鯖江市まなべの館）と久里実験漫画工房が共同してプロジェクトを行った。

資料整理・調査およびデータベース化：久里実験漫画工房

ヒアリング：久里実験漫画工房、当該専門家 記録・編集：久里実験漫画工房

デジタル化：久里実験漫画工房・株式会社IMAGICA

指導・監修：クリヨウジ（久里洋二） 事務統括：鯖江市

（成果物）

- ・クリヨウジメディア芸術作品目録（2022年度版）
- ・クリヨウジメディア芸術作品デジタル化データ（2022年度版）
- ・クリヨウジ関連資料目録（2022年度版）
- ・クリヨウジヒアリング・インタビュー記録（2022年度版）

（公開方法）

- ・クリヨウジメディア芸術デジタル化作品（2022年版）の公開
第15回鯖江市美術展 関連事業「クリヨウジ アニメーションをはじめる」
（会期：令和5年3月4日～8日・場所：鯖江市まなべの館）
- ・HPにて公開
（クリヨウジアrchiveサイトURL <http://yojikuriarchive.com>）

（文化的・社会的・経済的な意義）

- ・日本のメディア芸術における先駆時代の検証
- ・次の世代に資する貴重な資料へのアクセス性の向上
- ・クリ氏の故郷で多くの作品を展示する美術館における展示の充実と優れた作品を鑑賞する機会の創出

（残された課題）

・このプロジェクトは作家のヒアリングにより作品をより深く検証できることにその意義が最も有効に生じる。作家の年齢（95歳）を鑑みつつ、できるだけ多くの情報を得て各資料を調査しデジタル化することが重要である。また、各資料の内容を把握しているのは作家のみという状況を踏まえ、迅速に作業を進めなければならない。

